



## 女子ソフトボール韓国代表チームを招き、親善試合（6月20日～23日）



女子ソフトボール韓国代表チームと市内の小学生チーム「ラクーンズジュニア」

女子ソフトボール韓国代表チームを招いた親善試合がささやま学園（南矢代）で行われました。これは、市スポーツ振興官の長澤宏行さんが発起人となり、丹波篠山夢プロジェクトソフトボール（古杉和広代表）が日韓国交正常化60周年記念として、企画されました。21日にはユニピアささやまで歓迎レセプションが行われ、篠山産業高等学校吹奏楽部の皆さんが演奏を披露した後、市内のソフトボールチームの小中高生の選手たちが歓迎のあいさつを行い、友好を深めました。また、22日には環太平洋大学（岡山市）や、春の全国大会準優勝の創志学園（岡山市）と対戦し、白熱した試合を展開しました。

## 丹波篠山市雲部地区総合防災訓練（7月6日）



阪神・淡路大震災から30年、北但大震災から100年の節目を迎えた今年は雲部地区で総合防災訓練を行いました。高橋実芳子さん（こうべ防災サポート代表）を講師に迎えた防災講演や、訓練参加機関による防災に関する展示、起震車体験や煙道体験、水消火器体験などがあり、参加者は聞いて・見て・実際に体験しながら防災の意識を高めました。



## 黒大豆植え付け作業最盛期（6月14日・24日）

ANAグループ労働組合に所属する社員の皆さんが泉地区営農組合のほ場で6月14日、丹波黒大豆の移植作業を手伝えました。これは地域貢献活動の一環として、（株）小田垣商店と協同で実施し、今年で4回目を迎えました。この日は、客室乗務員の皆さんなど15人が親子で参加。あいにくの雨模様でしたが、社員の皆さんや営農組合の皆さんが移植機を使って黒大豆の苗を丁寧に植えていきました。

また、栽培歴20年を数える大西富美子さん（菅）のほ場でも植え付け作業が行われています。今年は40アールを手掛ける大西さんは、半分を枝豆、残りを黒豆に育てる予定で、10～20cmほどに育った苗を移植機を使ってテンポよく植え付けていきました。

## UCCN年次総会（6月23日・24日）



ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）の年次総会がフランスのアンギャン＝レ＝バンで行われ、2人の市職員が参加しました。各国の加盟都市からの参加者に丹波篠山の伝統文化や9月に開催する国際会議を紹介し、世界に向けて丹波篠山をPRする機会となりました。

## 認定農業者に吉田啓記さん（6月13日）



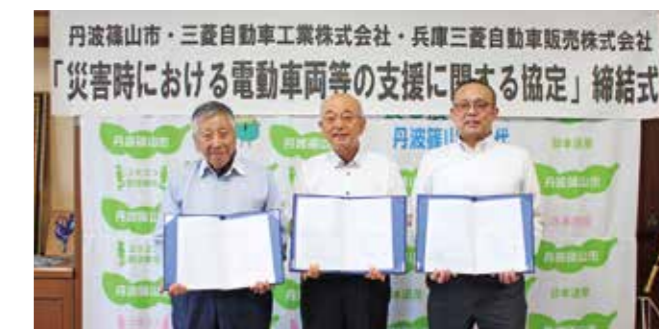
合同会社よしだ農園の吉田啓記さんが認定農業者に認定されました。今後は黒大豆・黒枝豆の作付面積を増やしていくほか、ドローンを用いた防除作業の受託など、スマート農業にも力を入れるとのこと。「自分の作った黒枝豆を買いに来てもらうことで丹波篠山の発展に貢献したい」と力強く語りました。

## ドローン活用協定を締結（7月1日）



市消防本部と一般社団法人無人航空機操縦士養成協会（志村伊織代表理事・福知山市）は、災害が発生した場合に無人航空機（ドローン）を活用するための協定を締結しました。応援要請があれば、協会がドローンを積んで出動。山中での要救助者の捜索や林野火災時の残火場所の特定などで協力が行われます。

## 防災協定の締結（6月25日）



三菱自動車工業株式会社および兵庫三菱自動車販売株式会社と、「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結しました。これにより、災害時にはプラグインハイブリッドEVなどの給電可能な電動車両の無償貸与を受けることができます。

## 市民みんなで環境について考えよう

### 環境セミナー

一人ひとりが地球温暖化防止や生物多様性の保全に取り組む意識を持つためのセミナーを開催します。

**とき** 8月31日（日）13:30～15:30  
**ところ** 四季の森生涯学習センター  
**内容** 特別講演  
 「気候危機、生物多様性を考える～私たちにできること～」  
**講師** 正木明さん（気象予報士、防災士）



★講師紹介  
 朝日放送「おはよう朝日です」や、ラジオ関西「正木明の地球にいいこと」に出演。気候変動問題や防災についても発信、活動中で、2022年からは子どもたちに向けた気候変動に関する出張授業プロジェクト「地球ラボ」で各地を回っている。